

# 平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年7月30日

上場会社名 株式会社 セガトイズ  
 コード番号 7842 URL <http://www.segatoys.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 國分 功  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 山重 佳治  
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月8日

上場取引所 JQ

TEL 03-5822-6244

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	2,606	—	△395	—	△395	—	△399	—
20年3月期第1四半期	2,606	△15.1	△462	—	△467	—	△490	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	△18.57	—
20年3月期第1四半期	△22.96	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	5,549	3,028	54.5	140.54
20年3月期	6,736	3,415	50.6	158.75

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 3,026百万円 20年3月期 3,411百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	7,250	△8.7	10	—	0	—	△15	—	△0.70
通期	16,700	△0.7	422	—	400	—	350	—	16.29

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

【注】詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。】

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

【注】詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。】

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 21,536,100株 20年3月期 21,491,100株

② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 一株 20年3月期 一株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 21,491,595株 20年3月期第1四半期 21,378,623株

### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係わる本資料の発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績等は、経済情勢、市場動向など様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表

に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期のわが国経済は、原油価格・原材料価格の高騰、サブプライム住宅ローンに端を発した金融市場の混乱から、個人消費の伸び悩みや企業収益が減少する等、景気の減速感を強めながら推移しております。

このような状況のなか、当社グループはエンドユーザーの価値を徹底的に追求し、当社の強みであるデジタル技術の活用や他社とのアライアンス等を通じ、新しい価値の創造、新しい市場の開拓に取り組んでまいりました。

NEWコンテンツビジネス関連におきましては、「爆丸」の海外販売が好調に推移し売上を大きく伸ばした他、「くるりんアイスクリン」を新たに投入しました。ファミリーエンターテイメント関連におきましては、「idog」の海外販売が前年実績を下回りましたが、「カラダトレーナー」が話題商品となり、新規チャネルを開拓しました。

これらの結果、当第1四半期における連結業績は、売上高は2,606百万円（前年同期比0.0%増）、営業損失は新たな会計基準（棚卸資産の評価に関する会計基準）の適用もあり395百万円（前年同期は営業損失462百万円）、経常損失は395百万円（前年同期は経常損失467百万円）となり、四半期純損失は399百万円（前年同期は四半期純損失490百万円）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期末の総資産は前期末に比べ1,187百万円減少し、5,549百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金が572百万円、たな卸資産が106百万円それぞれ減少したこと及び有価証券の償還500百万円です。

負債は、前期末に比べ800百万円減少し、2,520百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が277百万円減少したこと及び短期借入金等有利子負債を410百万円返済したことです。

純資産は、前期末に比べ387百万円減少し、3,028百万円となりました。主な要因は、四半期純損失399百万円を計上したことです。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動により47百万円、財務活動により398百万円の資金を使用し、投資活動により387百万円の資金を得た結果前期末比61百万円減少し、1,539百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期における営業活動の結果、使用した資金は47百万円となりました（前年同期は102百万円の支出）。これは主に、税金等調整前四半期純損失395百万円を計上し、また、仕入債務が277百万円減少した反面、減価償却費101百万円を計上し、売上債権が572百万円減少したこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期における投資活動の結果、得た資金は387百万円となりました（前年同期は215百万円の支出）。これは主に、有形固定資産の取得(主に金型)による支出が102百万円ありましたが、有価証券の償還による収入が500百万円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期における財務活動の結果、使用した資金は398百万円となりました（前年同期は493百万円の収入）。これは主に短期借入金の返済400百万円、社債の償還による支出10百万円によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期は概ね当初に想定した範囲内で推移しており、第2四半期連結累計期間・通期の業績予想につきましては、現時点では平成20年4月30日に公表しました業績予想を変更しておりません。

#### 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
  - ①一般債権の貸倒見積高の算定方法  
当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。
  - ②棚卸資産の評価方法  
当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しましては、実施棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。
  - ③固定資産の減価償却費の算定方法  
固定資産の減価償却費の算定方法については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。
  - ④繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法  
繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
  - ①四半期財務諸表に関する会計基準の適用  
当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。
  - ②棚卸資産の評価基準及び評価方法の変更  
「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号)を当第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。  
この結果、従来の方法によった場合に比べて、売上総利益は117百万円減少し、営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失はそれぞれ117百万円増加しております。
  - ③リース取引に関する会計基準の適用  
所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号)が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、平成20年4月1日以降にリース取引開始となる契約からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。なお、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。これに伴う損益に与える影響はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,546,631	1,607,926
受取手形及び売掛金	1,522,087	2,094,131
商品	566	600
製品	1,014,756	1,176,511
原材料	154,286	99,067
仕掛品	18,380	21,701
貯蔵品	10,907	7,804
繰延税金資産	83,538	86,880
その他	242,606	692,757
貸倒引当金	△3,182	△3,729
流動資産合計	4,590,580	5,783,650
固定資産		
有形固定資産	481,111	472,116
無形固定資産		
のれん	126,491	134,924
その他	60,095	58,093
投資その他の資産		
繰延税金資産	47,088	47,625
その他	247,870	242,766
貸倒引当金	△16,465	△16,465
固定資産合計	946,193	939,061
繰延資産	12,559	13,701
資産合計	5,549,333	6,736,413
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	811,773	1,089,299
短期借入金	30,000	430,000
1年内返済予定の長期借入金	30,000	30,000
1年内償還予定の社債	706,000	716,000
未払法人税等	471	17,502
その他	459,112	559,590
流動負債合計	2,037,357	2,842,393
固定負債		
社債	469,000	469,000
その他	14,501	9,500
固定負債合計	483,501	478,500
負債合計	2,520,858	3,320,893

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,735,684	1,729,924
資本剰余金	1,755,785	1,750,070
利益剰余金	△463,216	△64,163
株主資本合計	3,028,253	3,415,830
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△111	△284
為替換算調整勘定	△1,494	△3,913
評価・換算差額等合計	△1,606	△4,198
少数株主持分	1,827	3,887
純資産合計	3,028,474	3,415,520
負債純資産合計	5,549,333	6,736,413

(2) 【四半期連結損益計算書】

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間  
(自平成20年4月1日  
至平成20年6月30日)

売上高	2,606,758
売上原価	2,042,711
売上総利益	564,046
販売費及び一般管理費	959,477
営業損失(△)	△395,431
営業外収益	
受取利息	772
投資事業組合運用益	4,682
その他	3,241
営業外収益合計	8,697
営業外費用	
支払利息	4,059
支払保証料	1,970
その他	2,698
営業外費用合計	8,728
経常損失(△)	△395,462
税金等調整前四半期純損失(△)	△395,462
法人税、住民税及び事業税	1,526
法人税等調整額	3,877
法人税等合計	5,404
少数株主損失(△)	△1,814
四半期純損失(△)	△399,052

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間  
(自 平成20年4月1日  
至 平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失 (△)	△395,462
減価償却費	101,823
のれん償却額	8,432
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△547
受取利息及び受取配当金	△788
支払利息	4,059
為替差損益 (△は益)	4,025
売上債権の増減額 (△は増加)	572,044
たな卸資産の増減額 (△は増加)	106,786
仕入債務の増減額 (△は減少)	△277,526
未払費用の増減額 (△は減少)	△99,667
その他	△64,772
小計	△41,593
利息及び配当金の受取額	7,281
利息の支払額	△653
法人税等の支払額	△12,919
営業活動によるキャッシュ・フロー	△47,885
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有価証券の償還による収入	500,000
有形固定資産の取得による支出	△102,849
無形固定資産の取得による支出	△9,664
その他	△161
投資活動によるキャッシュ・フロー	387,324
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の返済による支出	△400,000
社債の償還による支出	△10,000
株式の発行による収入	11,434
配当金の支払額	△210
財務活動によるキャッシュ・フロー	△398,775
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,958
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△61,294
現金及び現金同等物の期首残高	1,601,003
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,539,708

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第1四半期累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

当社連結グループは、玩具の企画、開発及び販売を主たる事業としておりますが、当該事業の売上高及び営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める割合が、いずれも90%を超えるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

当第1四半期累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

当社連結グループは、在外子会社が1社存在しますが、当該所在地における売上高の金額は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が、いずれも10%未満であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

当連結会計年度(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	北米	アジア	ヨーロッパ	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	780,607	300,520	32,499	39,948	1,153,575
II 連結売上高(千円)	—	—	—	—	2,606,758
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	30.0	11.5	1.3	1.5	44.3

(注) 1 地域は、地理的近接度により区分しております。

2 本邦以外の区分に属する地域の主な内訳は次のとおりであります。

- (1) 北米 …… 米国、カナダ
- (2) アジア …… 韓国、台湾、香港
- (3) ヨーロッパ …… イギリス
- (4) その他の地域 …… オーストラリア

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。



## 「参考資料」

## (1) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額(千円)
I 売上高	2,606,067
II 売上原価	1,953,168
売上総利益	652,899
III 販売費及び一般管理費	1,115,032
営業損失(△)	△462,132
IV 営業外収益	4,426
V 営業外費用	10,034
経常損失(△)	△467,740
VI 特別利益	—
VII 特別損失	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△467,740
税金費用	23,224
少数株主損失(△)	△127
四半期純損失(△)	△490,837

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
区分	金額(千円)
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
1 税金等調整前四半期純損失(△)	△ 467,740
2 減価償却費	118,247
3 支払利息	3,073
4 売上債権の減少額	312,783
5 たな卸資産の増加額	△ 287,622
6 仕入債務の増加額	300,454
7 未払費用の増加額	27,052
8 その他	△ 45,925
小計	△ 39,676
9 利息及び配当金の受取額	6,272
10 利息の支払額	△ 2,315
11 法人税等の支払額	△ 67,262
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 102,980
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
1 有形固定資産の取得による支出	△ 196,762
2 無形固定資産の取得による支出	△ 13,431
3 その他	△ 4,843
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 215,037
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
1 短期借入金の増加額	600,000
2 社債の償還による支出	△ 10,000
3 株式の発行による収入	780
4 配当金の支払額	△ 97,174
財務活動によるキャッシュ・フロー	493,605
<b>IV 現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	2,073
<b>V 現金及び現金同等物の増加額</b>	177,661
<b>VI 現金及び現金同等物の期首残高</b>	988,327
<b>VII 現金及び現金同等物の期末残高</b>	1,165,988

## (3) セグメント情報

## [事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)

当社連結グループは、玩具の企画、開発及び販売を主たる事業としておりますが、当該事業の売上高及び営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める割合が、いずれも90%を超えるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

## [所在地別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)

当社連結グループは、在外子会社が1社存在しますが、当該所在地における売上高の金額は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が、いずれも10%未満であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

## [海外売上高]

前第1四半期連結累計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)

	北米	アジア	ヨーロッパ	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	730,951	58,449	90,282	—	879,684
II 連結売上高(千円)	—	—	—	—	2,606,067
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	28.1	2.2	3.5	—	33.8

(注) 1 地域は、地理的近接度により区分しております。

2 本邦以外の区分に属する地域の主な内訳は次のとおりであります。

- (1) 北米 …… 米国、カナダ
- (2) アジア …… 香港、台湾
- (3) ヨーロッパ …… イギリス、ドイツ